

一般会計予算決算常任委員会審査日程

期 日 令和 8 年 9 月 1 6 日（水）

午前 9 時 3 0 分から

場 所 議場

審査日程

- 1 議案第 4 2 号 令和 7 年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について
- 2 議案第 5 3 号 令和 8 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 3 回）について

補正予算 **決算認定**

審査 番号	項 目	出席者
①	議案第 4 2 号（決算認定）に対する各分科会長 報告及び質疑	委員のみ
※執行部入場のため、委員会を暫時休憩		
②	議案第 4 2 号（決算認定）に対する討論及び採決	委員及び執行部
③	議案第 5 3 号（補正予算第 3 回）に対する各分科 会長報告、質疑、討論及び採決	

■分科会長報告概要■

		令和 8 年 9 月 定例会
		一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第42号令和7年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	
担 任 事 項	総務文教常任委員会が所管する部分	
論点又は審査によって明らかになった事項など	【歳入】 ○1 款 市税 前年度比 3.5%増の 106 億 1,519 万 4,374 円 ○11 款 地方交付税 前年度比 6.6%増の 93 億 7,913 万 9,000 円 ○15 款 国庫支出金 前年度比 11.9%増の 55 億 5,469 万 4,423 円 【ハロウィンイベント実施事業】 ○本市の認知度向上・交流人口増加等を目的に、若者をメインターゲットにして令和元年度から実施している。令和 7 年度は、おのだサンパークでスマイル・ハロウィンパーティーを開催し、決算額はスタジオ・スマイル補助金 470 万 3,000 円である。 ○成果指標のうちデジタルスタンプラリー参加者数とパーティー集客数は目標未達となり、デジタルスタンプラリーは令和 8 年度に廃止することとした。 (主な質疑) *「集客数はおのだサンパークの来場カウンターの数値であり、本事業の参加者数と言えるのか」との質疑に「サンパーク全体を会場として使用しているため、来場者数を集客数としている」との答弁 *「シティセールスやシビックプライドの醸成の効果を具体的な数値で示せるか」との質疑に「アンケート等での定量化は難しいが、メディア掲載やSNSでの発信、参加した若者のその後のまちづくり活動への参加等から一定の効果はあると考えている」との答弁 *「具体的にどのように担い手の育成を行ったのか」との質疑に「市民等 165 人がイベントスタッフとして参加した」との答弁 【きらら交流館再整備事業】 ○老朽化した宿泊研修施設きらら交流館を観光交流拠点施設「海辺の駅そらうみ」としてリニューアルする事業である。建築主体・機械設備工事、電気設備工事等を発注し、令和 7 年度は各契約の前払金を支出した。決算額のうち工事請負費は、5 億 7,390 万円である。	

(主な質疑)

- * 「中東情勢等による資材価格高騰や納期遅延の影響は」との質疑に「一部資材を代替品に変更するなどの対応をしており、現時点で工事の遅れは生じていない」との答弁
- * 「予定どおり令和9年9月にオープンできるのか」の質疑に「令和8年8月末時点の工事進捗率は約22%であり、現時点で遅れは生じていない」との答弁
- * 「当初の事業目的である「焼野海岸、竜王山等の資源を生かした観光交流拠点施設」という考えは変わらないか」との質疑に「当初から変わっていない」との答弁

【避難所等整備事業】

○南海トラフ巨大地震等に備え、国の避難所開設・運営における避難者1人当たりの物資・資機材の確保目標水準を踏まえ、簡易トイレ92式、簡易ベッド358台、テント式パーティション372張、給水用コンテナ19基を購入した。決算額は、3,377万5,863円である。

(主な質疑)

- * 「議会から、5か年計画を前倒しして早期に一括購入すべきこと、市南部地区に防災倉庫を設置すべきことの附帯決議を行ったが、これらを踏まえた事業の執行状況は」との質疑に「改めて庁内協議を行ったが、保管場所等を総合的に勘案し、当初計画どおり5か年で整備することとした。市南部地区への配置については、現在は山口東京理科大学の空きスペースの提供を受けて備蓄品を配置している」との答弁
- * 「防災訓練において簡易トイレ・簡易ベッドの使用法の周知が十分でない例が見られたが、こういったことを市民に周知しないのか」との質疑に「地区訓練や出前講座での説明を継続し、周知徹底に努める」との答弁
- * 「被災時に備蓄品を管理場所から運搬する方法は確立されているのか」との質疑に「職員や協定を結んでいる業者と実施する」との答弁

【地域運営組織推進事業】

○地域づくり交付金交付事業と地域づくり政策アドバイザー設置事業の2本柱の事業である。決算額の合計は2,427万9,000円で、全額一般財源となる。

○協議会の実施事業数は目標270件に対し258件で、達成率は95.55%であった。

○地域づくり政策アドバイザーについては、令和7年度当初予算に係る附帯決議を踏まえて精算した結果、約30万円の不用額を生じた。

(主な質疑)

- * 「アドバイザー契約の検証状況は」との質疑に「令和7年度予算に係る附帯決議を受け、実働に応じた執行としたところである。また、令和9年度に向けて契約形態の見直しを研究している」と

の答弁

- *「RMOをどのように市民に浸透させるのか」の質疑に「地域住民に認知してもらうのは難しいが、ホームページの立ち上げやインスタグラムを使用して浸透を図る」との答弁
- *「地区プロジェクト事業の実績が5地区9事業であるが、これを広げていく考えはあるか」との質疑に「事業費を使うか、使わないかは、地域の意思に任せたい」との答弁

【中学生の文化・スポーツ活動体制整備推進事業】

○休日の中学校部活動の地域クラブ活動への移行に向け、令和7年度は実証事業を実施した。決算額は、486万円である。

(主な質疑)

- *「部活動の地域移行に伴う中学校体育連盟の登録等の周知状況は」との質疑に「未登録事例が把握されており、教育委員会と連携してアンケート調査等による周知状況の把握を検討している」との答弁
- *「報償金が発生しているが、何に使ったのか」との質疑に「ソフトテニス、バレーボール、サッカー、陸上競技、軟式野球、剣道の種目に係る報償金として支払っている」との答弁

【市民体育館整備事業】

○昭和62年竣工の市民体育館について、アリーナ空調設備新設、特定天井対策、トイレ洋式化等の改修を実施している。建築主体・機械設備・電気設備の3工区に分けて発注し、令和7年度は各契約の前払金を支出した。決算額は、3億760万7,000円である。

(主な質疑)

- *「供用開始はいつ頃か」質疑に「令和9年4月1日の予定である」との答弁
- *「市民体育館が使えないことでのクレームはなかったか」の質疑に「市民館体育ホールや地域交流センターの体育館を活用していただいた。御迷惑をお掛けしたがクレームはなかった」との答弁

【学校施設長寿命化改修事業】

○赤崎小学校特別教室棟外壁改修工事を実施し、決算額は2,374万9,000円であった。

○厚狭小学校耐力度調査を実施し、決算額は813万1,000円であった。

○厚狭小学校の耐力度調査の結果、校舎の一部が基準点数以下となり、また、旧厚狭高等学校南校舎跡地への移転改築の方針を踏まえて県に確認したところ、移転の場合の特例緩和が適用され、屋内運動場を除いた校舎全体が危険建物の改築に係る国庫補助事業の対象となる。

(主な質疑)

- *「別敷地移転により財源面で有利になるのか」との質疑に「現地での長寿命化改良よりも、移転改築の方が財源上有利になると言

える」との答弁

【学校和式トイレ洋式化事業】

○児童生徒が快適に学校生活を送れるよう、和式トイレの洋式化を推進するもの。令和7年度は計28基を洋式化し、決算額は836万円であった。全便器数比で算出する「洋式化率」に代えて、令和8年度からは現員数に応じた必要便器数を全て洋式化する「充足率100%」を新たな指標とし、令和12年度までの整備する。

(主な質疑)

＊「これまでの附帯決議を踏まえた対応は」との質疑に「洋式便器1基当たりの児童生徒数が多い学校を優先して整備した」との答弁

＊「充足率100%とはどのような状態か」との質疑に「現在の児童数に応じた必要な便器数を算出して、それを全て洋式化した状態である」との答弁

【自由討議】

○ハロウィンイベント実施事業について

過去の附帯決議の趣旨が十分に実現されていない現状を鑑み、令和9年度当初予算審査までに、認知度向上の客観的測定を含む4項目について改善が示されない場合は、事業の廃止を含む抜本的な見直しを強く求める旨の附帯決議を提出すべきことで一致した。

○中学生の文化・スポーツ活動体制整備事業について

中学校体育連盟が主催する大会への参加に支障を来す生徒がいることや地域クラブ活動の指導者不足などの実情があることから、文化・スポーツ活動を希望する全ての中学生が取り残されないよう、地域展開に向けた体制整備をより一層推進することを強く求める旨の附帯決議を提出すべきことで一致した。

以上の2事業について、一般会計予算決算常任委員会において自由討議を求める。

■分科会長報告概要■

		令和 8 年 9 月 定例会
		一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第42号 令和7年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分	
論 点 又 は 審 査 によって明らか になった事項	【空家等活用促進区域活性化事業】 ○空家等の活用が必要と認められる区域を空家等活用促進区域として定め、空家等の活用を通じて、地域における経済的社会的活動を促進するもの。目標達成度については実績がないことから「D」としている。 (主な質疑) *「目標達成度が「D」にもかかわらず、引き続きこの区域を促進区域として定めていく理由は何か」との質疑に「この地域は、Aスクエアが建設されてL A B Vプロジェクトによってにぎわいを創出しようとしている地域であるため、空き家を活用することで併せてにぎわいの創出を進めていきたいと考えているため」との答弁 【のぞみ園更新事業】 ○施設の老朽化、トイレ数の不足、食事場所の課題等を解決し、障害福祉サービスの質の向上及び利用者の安全確保を図るため、新たに建物を整備するもの (主な質疑) *「財源に補助金が含まれておらず、全額一般財源の理由は何か」との質疑に「事業団の自主運営も同時並行で進んでおり、市の建物でなくなったときには補助金の返還が生じてくるため、一般財源とした」との答弁 【子ども医療費助成事業】 ○子育て世代の経済的負担軽減を目的とし、児童の保険適用医療費の自己負担分を助成するもの (主な質疑) *「将来的に高校3年生まで拡充する考えはあるか」との質疑に「具体的な検討はしていない」との答弁	

【乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）】

○保護者の就労状況にかかわらず、必要なときに保育施設を時間単位で柔軟に利用できる仕組みを通じ、子育て家庭を支援するもので、令和7年度においては、令和8年度からの本格実施を見据え、10月から試行的に事業を実施した。目標の540人を大幅に下回り、目標達成度は「D」となっている。

（主な質疑）

＊「試行的事業の開始に伴い、どのような周知をしたのか」との質疑に「広報紙で2回、ホームページの掲載、チラシの配布などを行った」との答弁

【小野田地区公立保育所整備事業】

○公立保育所再編基本計画に基づき、小野田地区にある日の出保育園について、現在の定員120名と同じ規模で、既存園舎の北側土地に建替えを行うもの

（主な質疑）

＊「大規模な工事が行われている中で、在園児に対する配慮はされているのか」との質疑に「安全面を考慮し、保護者の迎え等があるときには工事車両の通行を制限している。また、ネットを張って防音対策をしている」との答弁

【避難所備蓄品整備事業】

○南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害の発生に備え、避難所における良好な生活環境を確保するため、食料品や生活用品などの備蓄品を計画的に整備するもの

（主な質疑）

＊「米、クラッカーの備蓄購入数が令和7年度の目標3,000に対して実績が2,000にとどまった理由は何か」との質疑に「令和7年度は物価高騰等の影響、米不足等があったため、500食ずつ減らした」との答弁

【飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業】

○飼い主のいない猫の繁殖防止及びそれらの猫による生活環境被害の軽減等を目的として、TNR活動を実施するものに補助金を交付するもの

（主な質疑）

＊「成果は「拡充」でコストは「拡大」となっているが、令和8年度の目標が半減している理由は何か」との質疑に「令和8年度予算については市の総合的な判断で100万円となったが、令和9年

度については、事業の拡充を検討しているため」との答弁
*「予算がなくなり申請の締切りが予測された時期はいつか」と
の質疑に「令和7年4月22日である」という答弁

《自由討議》

○飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業

本事業は飼い主のいない猫による生活環境被害の軽減に一定の成果を上げており、事業の必要性は高いが、ニーズに見合った予算が計上されていないことから、附帯決議を提出することで一致した。

以上の事業について、一般会計予算決算常任委員会において自由討議を求める。

■分科会長報告概要■

		令和 8 年 9 月 定例会
		一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第42号 令和7年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	
担 任 事 項	産業建設常任委員会が所管する部分	
論点又は審査によって明らかになった事項など	【浄化槽整備推進事業】 ○公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水整備区域外にある個人住宅に浄化槽を設置する人に対し補助金を交付し、汚水処理人口普及率の向上を図るもの (主な質疑) *「目標達成度が低い理由について分析をしているか」との質疑に「広報紙や住宅展示場などでPRは行っているため需要の減少だと考えている」との答弁 【新規就農者支援事業】 ○経営の不安定な新規就農者に対し、農業用機械又は施設等の整備に要する経費の一部を補助し、経営の安定化及び次世代を担う農業者の確保・育成を目的とするもの (主な質疑) *「就農者獲得のために市外へのPRはどのように行っているか」との質疑に「県主催のガイダンスでのPRのほか、山口県立農業大学校への案内も行っている」との答弁 【多面的機能推進事業】 ○担い手に集中している水路農道等の維持管理、補修を地域全体で実施することにより、担い手への負担を軽減し、耕作放棄地の発生を防止するもの (主な質疑) *「耕作放棄地の解消に向けて具体的にどう進めていくのか」との質疑に「特定の担い手に係る負担を分散できるよう交付金を活用し、活動組織と協議しながら課題解決に努める」との答弁 【小規模土地改良助成事業】 ○地元が行う農業用施設の改修等に補助金を交付し、農業の生産性向上と農村環境の改善を図るもの	

(主な質疑)

＊「待機件数の改善がされていないため検討が必要ではないか」との質疑に「多面的機能支払制度などほかの事業との連携が図れるものも活用して縮減を図っていきたい」との答弁

【有害鳥獣捕獲奨励事業】

○農作物への被害軽減を目的に有害鳥獣の捕獲を奨励するため、山陽小野田市有害鳥獣対策協議会を事業実施主体とし、有害鳥獣を市内で適法に捕獲し、その確認資料を提出した者に対し補助金を交付するもの

(主な質疑)

＊「イノシシの捕獲頭数が減少していることをどう捉えているか」との質疑に「猟友会への聞き取りでは令和7年度は目撃情報自体が少なかったことが要因と考えている」との答弁

【地方バス路線維持対策事業】

○バス事業者3社に対して補助金を交付し、市民の日常生活に必要なバス路線を維持するもの

(主な質疑)

＊「本市の実質負担額はどうなっているか」との質疑に「地方交付税で約8割が措置されるので、実質負担額は約2割に当たる2,500万円程度である」との答弁

【高泊地区デマンド型交通運営事業】

○高泊地区のバス路線の廃止に伴い、デマンド型交通を運行し、マイカーで自由に移動できない方に生活交通手段を確保するもの

(主な質疑)

＊「国からの補助対象外となっているが、どうしたら対象となるか」との質疑に「1日当たりの稼働率が30%以上であることが要件であり、実績が29%強のため、利用者が1日当たり1名弱増えれば基準を満たす」との答弁

【小規模土木事業】

○生活に密接する公共性の高い道路、水路等を整備する自治会に助成金を交付し、生活環境の向上を図るもの

(主な質疑)

＊「自治会の規模に応じた負担割合についての協議はどうなっているか」との質疑に「世帯数、人口数など様々な要素があり、自治会の大小の線引きについては今後の検討課題である」との答弁

【通学路安全対策事業】

○通学路の路側帯の整備や歩道の拡幅等を行い、児童生徒の通学の安全向上を図るもの

(主な質疑)

＊「令和 7 年度において一般財源が 200 万円増加している理由は」との質疑に「すりつけに要する区間など国庫補助金を使えない事業の部分に一般財源を充当しているためである」との答弁

【河川整備事業】

○境川の未整備区間の護岸を整備し、治水安全度の向上を図るもの
(主な質疑)

＊「工期の遅れに対する防災対策はどうか」との質疑に「地元管理の普通河川であり、土のうなどで対策を行っている」との答弁

【管理施設改修事業】

○維持管理コストの軽減を図るため、江汐公園の外灯 62 基を水銀灯から L E D への改修工事を行った。

○浜河内緑地テニスコートの審判台を 2 台更新した。

(主な質疑)

＊「外灯の L E D 化による費用の削減効果はどうか」との質疑に「水銀灯から L E D に交換したことで前年度比 50%削減できた」との答弁

【住宅リフォーム資金助成事業】

○地域経済の活性化と住環境の向上を図るため、市民が既存住宅の改修工事を行う場合に住宅リフォーム資金を助成するもの

(主な質疑)

＊「市内業者への波及効果をどのように考察しているか」との質疑に「算出式に当てはめると事業費総額 1 億 9,500 万円に対して 3 億 6,000 万円の経済波及効果があったと考えている」との答弁

【市営住宅建替整備事業】

○市営住宅等長寿命化計画に基づき行う建替事業で、令和 7 年度に叶松団地の建替整備のための解体工事等を行うもの

(主な質疑)

＊「建て替え後の家賃についての考えはどうか」との質疑に「まず家賃を決定し、住替入居者については新しい家賃と比較し、差額を 5 年間掛けて新しい家賃に移行する」との答弁

■分科会長報告概要■

		令和 8 年 9 月定例会
		一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第53号 令和8年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について	
担 任 事 項	総務文教常任委員会が所管する部分	
概 要	今回の補正は、減債基金及び公立大学法人山口東京理科大学運営基金積立事業等、取り急ぎ措置すべき案件について補正するもの	
論点又は審査によって明らかになった事項など	【歳入】 ○10 款 地方特例交付金 ・ 1 項 1 目地方特例交付金 1,054 万 8,000 円の増額 令和 8 年度交付額の決定に伴い、当初予算額との差額を増額するもの ○11 款 地方交付税 ・ 1 項 1 目地方交付税 4 億 5,068 万 6,000 円の増額 令和 8 年度普通交付税の交付決定に伴う増額である。このうち 1 億 7,270 万 1,000 円は令和 9 年度から 12 年度に措置される臨時財政対策債の元利償還金の前倒し交付分であり、同額を減債基金に積み立てる。 ○19 款 繰入金 ・ 1 項 1 目財政調整基金繰入金 2 億 4,056 万 1,000 円の減額 ○21 款 諸収入 ・ 5 項 4 目過年度収入のうち 324 万 5,000 円分の増額 令和 7 年度情報システム標準化・共通化事業に係るデジタル基盤改革支援補助金のうち、令和 8 年 3 月分のガバメントクラウド利用料等について、補助主体である地方公共団体情報システム機構よりからの通知により令和 8 年度交付申請の対象となったもの 【歳出】 ○2 款 総務費 ・ 1 項 8 目財産管理費 1 億 7,270 万 1,000 円の増額 普通交付税の追加交付のうち臨時財政対策債の元利償還金前	

倒し分を減債基金に積み立てるもの

- ・ 1 項 14 目防災費 500 万円の増額

今後の台風シーズンに備え、過去 7 年間の秋季における最大支出額を参考に増額するもの

- ・ 7 項 1 目大学費 5,863 万 1,000 円の増額

令和 8 年度の公立大学分普通交付税額が当初見込みを上回ったため、増額分を基金に積み立てるもの

(主な質疑)

＊「災害応急工事は随意契約により市内業者に発注しているが、金額の妥当性をどのように検証しているか」との質問に「担当課と協議の上で過去の工事实績を参考とした金額と見積り額を照らして確認している」との答弁

＊「公立大学法人運営基金はどのような目的で積み立てているか」との質問に「施設改修や研究設備更新など中長期的に大きな支出が必要となる場合に備えるものである」との答弁

○9 款 消防費

- ・ 1 項 2 目非常備消防費 27 万 8,000 円の増額

消防団員安全装備品整備事業助成金の追加交付決定を受け、令和 9 年度に購入予定であった雨衣 60 着分を前倒しで追加購入するもの

○10 款 教育費

- ・ 3 項 1 目学校管理費 200 万円の増額

体育館引戸の修繕等の学校からの要望、消防設備点検結果による修繕、水道管凍結対応等のために増額するもの

- ・ 3 項 3 目学校建設費 150 万円の増額

厚狭中学校の通学路水路整備工事及び給食室付近側溝等補修工事により予算残額が減少したため、今年度末までの維持補修に係る工事に支障を来さないよう増額するもの

- ・ 6 項 2 目給食費 20 万 2,000 円の増額

食物アレルギー等により学校給食を提供できない小学生の保護者に対し、給食費相当額を給付する「学校給食弁当代替給付金」を新設するもの

(主な質疑)

＊「不登校の児童も給食を食べていないが、給付対象に含まれないのはなぜか」との質問に「学校給食センターから給食を提供できない児童生徒を対象とする制度であり、家庭で食事を取る不登校児童は対象としていない」との答弁

【債務負担行為補正】（追加）

○サポート寄附受発注等支援業務

限度額 当該業務に係るサポート寄附額の 5.5%
ふるさと納税の受発注等支援業務について、現行事業者との契約が今年度末で終了することから、来年度以降 3 年間の委託事業者をプロポーザル方式で選定するために設定するもの

【地方債補正】

○農業用施設災害復旧事業債 限度額 80 万円

○公共土木施設災害復旧事業債 限度額 700 万円

災害応急工事委託料の増額に伴う財源として計上するもの

■分科会長報告概要■

		令和 8 年 9 月定例会
		一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第53号 令和8年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について	
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分	
概 要	今回の補正は、小野田地区保育所整備事業、サステナトレセンプロジェクト等、取り急ぎ措置すべき案件について補正するもの。また、債務負担行為の補正において、小野田地区保育所整備事業を追加するもの	
論点又は審査によって明らかになった事項など	【歳出】 ○2 款 総務費 ・ 3 項 1 目戸籍住民基本台帳費のうち 219 万 2,000 円の増額 - 主な増額として厚陽出張所の証明発行事務に使用している F A X の機器保守が令和 9 年 3 月末で終了することに伴い各種更新を行うもの (主な質疑) * 「導入する機器は、南支所や埴生支所と同じ設備なのか。F A X を入れ替えるだけなのか」との質疑に「南支所等とは異なり、スキャナー付き複合機を設置し、市民課からの印刷指示により厚陽出張所で証明書を印刷する仕組みに変更するもの」との答弁 * 「コンビニ交付と同じことを厚陽出張所で行うということか」との質疑に「コンビニ交付は利用者本人が操作するが、本件は職員が操作して証明書を打ち出す仕組みである」との答弁 ○3 款 民生費 ・ 1 項 2 目障害者福祉費 12 万 2,000 円の増額 5 年毎に実施する全国調査（令和 8 年生活のしづらさなどに関する調査）に要する経費を増額するもの ・ 2 項 4 目保育所費 2,360 万円の増額 - 小野田地区公立保育所整備事業における外構第 1 期工事費を増額するもの (主な質疑) * 「障害者福祉費について、調査員の選考は地域の民生委員を対象にするのか」との質疑に「地域の実情に詳しい民生委員にお願い	

	する予定である。令和４年度の調査時も同様であった」との答弁 ＊「保育所整備に伴う外構工事のフェンスについて、プライバシーや防犯面への配慮はされているのか」との質疑に「フェンスの高さは１．５メートルとし、外部からの進入を考慮しているが、歩道からの目隠しは考慮していない」との答弁 ○４款 衛生費 ・１項２目予防費 １,８９５万７,０００円の減額 高用量インフルエンザＨＡワクチンの供給が困難となったことに伴う予算の組替えにより減額するもの ・１項４目公害対策費 ５５０万円の増額 レノファ山口と連携したＧＸ推進事業の運営委託料を、企業版ふるさと寄附金を財源として増額するもの (主な質疑) ＊「レノファ山口と連携したサステナトレセンプロジェクト事業において、小野田小学校を選定した理由は何か」との質疑に「レノファ山口から、練習会場であるおのサンサッカーパークに近く、調整がしやすいという理由から打診があった。また、小野田小学校も実施に前向きであったため」との答弁
--	---

■分科会長報告概要■

		令和 8 年 9 月 定例会
		一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第53号 令和8年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について	
担 任 事 項	産業建設常任委員会が所管する部分	
概 要	今回の補正は、緊急銃猟実施業務に係るものであり、取り急ぎ措置すべき案件であるため補正するもの	
論点又は審査によって明らかになった事項など	【歳出】 ○6 款 農林水産業費 ・ 2 項 2 目 林業振興費 39 万 6,000 円の増額 近年クマの出没が頻発しており、市民の安全を守り、農作物の被害を軽減するため、迅速に捕獲や緊急銃猟などの対応体制を整備するもの （主な質疑） ＊「これは従来行われている有害鳥獣捕獲事業の中に入るのか」との質疑に「あくまで危険鳥獣、クマやイノシシの対策に係るものである」との答弁	

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和7年度)

評価分科会	総務文教分科会
-------	---------

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	1	情報システム標準化・共通化事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
対象業務は残り一つとなっており掛かるコストは縮小となるが、成果の方向性については、事業終了まで現状と変わらない成果を求めるべきである。

その他特記事項
なし

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	2	山口東京理科大学との協創・データ活用によるスマートシティ推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充		○		
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・「健康状態が改善した人数」の達成率が、45.80%にとどまっている。 ・理科大との連携分析も「市の施策に具体的に反映できる結果」の創出に至っていない。 ・健康状態が改善した人の割合が年々低下しており、デジタル機器を活用したデータ収集についても十分な効果が確認できていない。 これらのことから、事業のコスト投入の方向性を見直す必要がある。その一方で、これまでに構築したシステムについては、山口東京理科大学という地域資源を活用しながら更なる成果を求めていくべきである。

その他特記事項
なし

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	3	ビジネスチャットツール導入事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
アクティブユーザー率が100%であり職員の連絡時間が短縮できているという効果が確認できた。市民福祉向上のため、引き続き職員の業務を効率化し、負担を軽減させる必要がある。

その他特記事項
私的利用やハラスメントにつながる不適切な利用を防止するため、利用ルールの徹底と適正な管理体制の充実を図る必要がある。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	4	地域おこし協力隊募集・受入事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
各隊員がそれぞれの地域でそれぞれの特性を生かして活動を行っている。今後は隊員数の増加を視野に入れつつ隊員が更に活躍できるよう事業を展開するべきである。

その他特記事項
地域協力活動においては十分な結果が出ているが、隊員が3年の任期満了後も本市に定住し続けてくれるのかという面で課題があるため、定住・定着につながる施策を行うべきである。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	5	ハロウィンイベント実施事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小		○		
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
理科大生や市民団体などイベントに関わる主体が広がっていることは評価できる。こうした連携を生かすことで、行政コストを抑えながら、市民の一体感につなげることができるのではないかという期待があったが、現在のところ本事業の目的が全く達成されていない。また、議会からの附帯決議やそれに至った審査の経過について全く検証されていない。(議会軽視が甚だしい)

その他特記事項
事業の本来の目的を見失わず、変化を恐れずに最適解を探求していくべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	6	きらら交流館再整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充		○		
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
事業費や工程を適切に管理して着実に整備を進めるとともに、完成後の効果的な施設運営につなげる必要がある。

その他特記事項
令和3年度の「令和8年度中」、令和4～5年度の「令和9年1月」、令和6年度の「令和9年3月頃」、令和7年度の「令和9年9月」と度重なるスケジュール遅延が発生している。 また、度重なる予算の増額が発生していることから、追加事業費が発生しないよう適切な事業費及び工程管理を求める。 そして、これらの重大な問題は事業完了後に検証すべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	7	避難所等整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
簡易トイレや給水コンテナは目標数に達しているが、想定を上回る避難者の発生も考慮し、引き続き避難所の資機材整備を拡充する必要がある。 また、災害時に資機材を迅速かつ確実に活用できるよう、適切な保管と運搬体制の整備を進める必要がある。

その他特記事項
なし

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	8	友好都市交流推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充		○		
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
友好都市との交流を深めるとともに、経済的な相互利益の創出と文化的結びつきをを深めていく必要があるが、訪問による具体的な成果が分かりにくいいため、コストについては再度検討する必要がある。

その他特記事項
今後は、国内の秩父市との交流にも注力すべきである。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	9	地域運営組織推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
本事業が目的通りに進んでいくと、人口減少・少子高齢化・財源減少など、多くの本市が抱えている課題を少しずつでも解消できるため、今後も拡充、拡大に努める必要がある。

その他特記事項
活動内容はまだ交流・イベントを中心とした取組が多いことから、地域課題の解決につながる活動へ発展させるための仕組みづくりを検討する必要がある。 また、11地域の地区運営協議会への地域づくり交付金を増やすなどして地域の活性化に努める必要がある。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	10	集落支援員設置事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
地域づくり支援員を配置することで、地区運営協議会の事務的機能と運営支援や地域課題の把握などの役割を担うことができる。

その他特記事項
現在、厚狭地区の支援員の欠員が長期化している。地域内で適任者が見つからない場合には、公募なども含め市が積極的に人材確保に取り組み、早期の配置につなげるなど未充足地区の解消に向けて具体的な取組を行う必要がある。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	11	現代ガラス展開催事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
現代ガラス展の開催を通じて、交流人口の増加を図るとともに市外会場における作品展を開催することで、引き続き本市のガラス文化の発信を行う必要がある。

その他特記事項
応募者や受賞者が固定化することのないよう、新たな応募者の開拓や幅広い作家の参加につながる手法を検討すべきである。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	12	山口県警察音楽隊演奏会開催事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
市民が身近に音楽に触れる機会を創出し、芸術文化によるまちづくりを推進する事業として、今後も継続して実施すべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	13	中学生の文化・スポーツ活動体制整備推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
議会からの附帯決議を十分考慮した結果が出ている。また、本市が直面する課題に対応する具体策がいくつか実施されている。

その他特記事項
目標とするクラブ数・種目数の実現には、なお時間を要すると考えられる。今後、受け皿となる団体、指導者、活動場所の確保など更なる体制整備が必要であり、それを支える財政面での支援も不可欠である。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	14	市民体育館整備事業

今後の方向性					
成 果 の 方 向 性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
完了

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	15	リーディングDXスクール事業

今後の方向性					
成 果 の 方 向 性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
完了

その他特記事項
指定校3校のリーディングDX事業で構築した知見を発展させ、生成AIを活用した先進的な指導モデルを構築させるとともに市内全小中学校への展開を行うべきである。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	16	学校給食実施事業(物価高騰分)(埴生幼稚園)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
保護者の経済的負担の軽減を継続して図るため、必要な財源を確保して給食費補助を継続していくべきである。

その他特記事項
物価高騰等により給食費の改定が必要となる場合には、改定の理由や保護者負担への影響について丁寧に説明を行うべきである。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	17	学校施設長寿命化改修事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
学校施設長寿命化を計画的に進める必要がある。

その他特記事項
本事業によって、児童や学校関係者への安全に資することになったのかについては、注視していく必要がある。 児童生徒数の将来推計や地域の実情、施設整備に係る財政負担等を踏まえ、学校の統廃合も含めた将来的な学校配置の在り方と併せて検討していく必要がある。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	18	屋内運動場照明器具LED化改修事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
出合小学校屋内運動場・厚陽小中学校の屋内運動場・武道場、高千帆小学校・高泊小学校・小野田小学校・赤崎小学校の多目的ホールが事業未実施である。LED化が必要な施設も残りわずかとなっていることから、引き続き計画的な改修を進め、早期完了を目指すべきである。

その他特記事項
なし

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	19	学校和式トイレ洋式化事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
本来は、早期に本事業実施率を100%にするべきではあるが、将来の小中学校統廃合を見据えての実施も重要である。

その他特記事項
なし

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	20	学校給食実施事業(物価高騰分)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
保護者の経済的負担の軽減を継続して図るため、必要な財源を確保して給食費補助を継続していくべきである。

その他特記事項
物価高騰等により給食費の改定が必要となる場合には、改定の理由や保護者負担への影響について丁寧に説明を行うべきである。

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和7年度)

評価分科会	民生福祉分科会
-------	---------

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	21	空家等活用促進区域活性化事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
実績がゼロなので、さらなる周知や、民間、商工会議所との連携が必要である。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	22	自立支援給付事業(就労選択支援)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
新規事業でもあることから、さらなる周知をしていただきたい。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	23	のぞみ園更新事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
完了

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	24	加齢性難聴者補聴器購入助成事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
現在の対象者基準で事業を継続すべきである。

その他特記事項
非課税世帯という要件を外すべきである。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	25	こども計画推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
完了

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	26	子ども医療費助成事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

その他特記事項
高校生世代まで拡充した場合の予算シミュレーションまではすべきである。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	27	乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
周知が足りなかったため利用人数が少なかったのか、周知不足のため利用人数が少なかったのか不明のため拡充する必要があると感じる。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	28	副食費増加相当額軽減事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
子育て世帯支援のため今後も継続すべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	29	小野田地区公立保育所整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
現在の内容で事業を継続すべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	30	公立保育所運営事業(臨時)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
子育て世帯支援のため今後も継続すべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	31	こども家庭センター事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
利用件数も多いため今後も継続するべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	32	妊婦のための支援給付事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
給付金の支援を通じて、妊婦の経済的負担の軽減と安心して出産・子育てができる環境づくりに期待する。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	33	避難所備蓄品整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
早急に避難所備蓄品を整備すべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	34	定期予防接種事業(帯状疱疹ワクチン)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・周知については検討が必要であるが、現在の内容で事業を継続すべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	35	定期予防接種事業(新型コロナウイルスワクチン)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
現在の内容で事業を継続すべきである。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	36	飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
4月時点で受付が締め切りになっているため、受付方法等に工夫が必要である。予算編成に当たっては、補助を希望する団体のニーズや意見を十分に聞く必要がある。

その他特記事項
本来行政がやるべきことを関係団体が協力してくれる点で協創によるまちづくりに資する事業である。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	37	GX推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
市GX推進協議会を中心に、取組の進捗状況や効果を検証し、社会情勢や技術の進展等を踏まえながら、必要に応じて施策の見直し・改善を行う必要がある。

その他特記事項
市民に対しては地球環境問題やGXを身近な問題としてとらえていただけるようわかりやすい情報発信を行う必要がある。

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和7年度)

評価分科会	産業建設分科会
-------	---------

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	38	浄化槽整備推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・単独浄化槽、汲み取りからの切り替えが年々減少傾向にあり、目標数値を抑えながら事業は継続していくこと。

その他特記事項
・汚水処理人口普及率を上げるため堅実な計画に努めるべきである。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	39	担い手支援事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・第一次産業の発展、農業支援の拡大のためにも重要な事業であり、担い手の要望を聞きながら継続的な農業用機械・施設における経費の補助支援を引き続き行っていくべきである。

その他特記事項
・認定農業者に対する支援が偏らないようにすること。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	40	新規就農者支援事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・第一次産業発展のため、農業政策として重要な事業であり、新たな認定農業者の発掘、獲得に努めること。

その他特記事項
・移住フェアなどの活用、県立農業大学校などの関係機関を通じて更なる周知を図り、事業の推進を図ること。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	41	多面的機能推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・農用地等関連施設の老朽化は顕著であり、また農業者の担い手不足や高齢化は大きな課題であるため、農業者の支援を継続していくこと。

その他特記事項
・地域計画を具体的に示し、農業者と連携しながら事業を継続していくこと。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	42	小規模土地改良助成事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・待機年数が長すぎるため、予算の拡大・確保が重要である。 ・繰越や待機の内容を精査し対応を協議していくこと。

その他特記事項
・待機に関しては1年後には完了できるよう協議を続けていくこと。

対象事業	No.	事務事業名
	43	有害鳥獣捕獲奨励事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・猟友会と協議し鳥獣の状況を把握し、今後の計画や対策について被害が減少するよう努めること。

その他特記事項
・山陽と小野田、二つある猟友会を統一し事業の効率化を図り担当課が一元管理してはどうか。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	44	地方バス路線維持対策事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・市民の移動手段確保のため、定期的な路線バスは必要であるが、3事業者との協議や利用者の意見聴取など利用促進へ向けて努力を怠らないこと。

その他特記事項
・運転手不足に対する対応として7市町の連携に期待している。

対象事業	No.	事務事業名
	45	地方バス路線維持対策事業(臨時)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・利用者の利便性を図るために時代に合わせたバス環境の整備は必要である。

その他特記事項
・事業効果について精査し報告を求める。

対象事業	No.	事務事業名
	46	厚狭北部デマンド型交通運営事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・必要不可欠な事業であるが、利用者の減少が課題であるため、詳細な分析と対策が必要である。

その他特記事項
・利用者獲得手段の一つとして運行事業者へのインセンティブを検討してもよいのではないかな。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	47	高泊地区デマンド型交通運営事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・地域と事業者の声を聞き、利用者獲得に努め、国からの補助の対象となるよう検証と改善に向けて努力が必要である。

その他特記事項

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	48	小規模土木事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・市民生活に身近な事業であり、待機件数ゼロを目指して予算を増やし対応すること。 ・負担率を変えずに対応件数を拡大するには予算の確保が重要である。

その他特記事項
・自治会の規模による補助率の流動化について、多方面からの検討が必要である。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	49	市道共和台1号線道路整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・関係する地域住民のため、計画的な整備が必要である。

その他特記事項
・地元の理解・協力を得た上で、工事完了まで防災対策を確実に行うこと。

対象事業	No.	事務事業名
	50	通学路安全対策事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・児童生徒の安全確保のために要望箇所が多く残っているのは看過できず、予算を拡大し危険箇所ゼロを目指すべきである。

その他特記事項
・関係機関との連携、協議を十分に行い、通学路の安全対策を怠らないこと。

対象事業	No.	事務事業名
	51	河川整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・被災対策の観点からも早期事業完了を目指すこと。

その他特記事項
・用地取得について、行政として積極的な支援を行うこと。

対象事業	No.	事務事業名
	52	スマイルエイジングパーク事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小		○		
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・費用対効果分析を真摯に受け止め、事業の縮小あるいは再検討をする必要がある。 ・糸根公園の整備は必要であり、補助金や自主財源を含めて資金計画を再検討すべきである。

その他特記事項
・地元への説明責任を果たしていくこと。

対象事業	No.	事務事業名
	53	管理施設改修事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・江汐公園をはじめ都市公園は老朽化しているため、計画的に整備を進めていくこと。

その他特記事項
・江汐公園、本山岬公園などトイレの改修が遅れているため、交流人口獲得のためにも利用者の視点に立った方向性を示すこと。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	54	住宅リフォーム資金助成制度

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・予算増額による申請期間の終了時期など効果が顕著であり、市内に経済効果をもたらすので有効な事業である。

その他特記事項
・アンケート結果を分析し現場の声を積極的に聞き取ること。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	55	市営住宅改修事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・他の市営住宅についても計画に基づき、安全で快適な住環境を整備していくこと。

その他特記事項
・国や県の補助金を研究、活用し有利な財源確保に努めること。

対象事業	No.	事 務 事 業 名
	56	市営住宅建替整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・他の老朽化した市営住宅についても計画的に建て替え更新をしていくべきである。

その他特記事項
・国や県の補助金を研究、活用し有利な財源確保に努めること。 ・人口減少下においても持続可能な建て替え整備を進めていくこと。 ・居住者の住み替えについては確実な配慮を行うこと。

○ ハロウィンイベント実施事業について

事業開始から８年目を迎えているが、いまだに既存の附帯決議の趣旨が十分に実現されているとは言い難い。令和９年度当初予算審査までに下記事項について具体的な改善が示されない場合には、事業の廃止を含めた抜本的な見直しを行うべきことを強く求める。

- (1) 「認知度向上」を客観的に測定する調査手法の導入とその結果
- (2) 来場者・参加者数の集計方法の信頼性を担保する具体的な改善策
- (3) 事業目的に即した成果指標の見直し
- (4) 山口東京理科大学以外の担い手の拡大に関する具体的な方策

○ 中学生の文化・スポーツ活動体制整備事業について

休日の中学生の部活動の地域展開が進められているが、地域クラブ活動に対する生徒、保護者への周知・理解促進が十分届いておらず、中学校体育連盟が主催する大会への参加に支障を来す生徒がいることが明らかになった。

また、指導者不足や活動場所の確保など受け入れる地域クラブも多くの課題を抱えている実情がある。

については、地域クラブ活動を通じて、文化・スポーツ活動を行うことを希望する中学生が取り残されることがないように、より一層の体制整備を推進することを強く求める。

○ 飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業について

飼い主のいない猫による生活環境被害を軽減するためには、地域で活動する民間団体等の協力が不可欠であり、本市が実施する飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助事業は、こうした活動を下支えするものとして一定の効果を上げてきた。

しかしながら、このたびの審査において、本事業は、受付開始後早い段階で予算枠が埋まり、年度途中からの申請に十分対応できていないことが明らかとなった。

については、過去の申請実績等を踏まえ、事業に対する高いニーズに見合った必要頭数分の予算を毎年度継続して安定的に確保するとともに、申請者が年度途中においても利用できるよう、先着順による一括受付の在り方を見直し、より公平かつ柔軟な申請受付方法を検討することを強く求める。